

「ADOC リハビリ従事者のためのコミュニケーションパッド」

ご利用マニュアル Version 1.3

このたびはiPad向けアプリケーション「ADOC リハビリ従事者のためのコミュニケーションパッド」（以下ADOC：エードックと読みます）をご購入頂きありがとうございました。このドキュメントではADOCのご利用方法を詳しく解説いたします。

■ADOC（エードック）とは

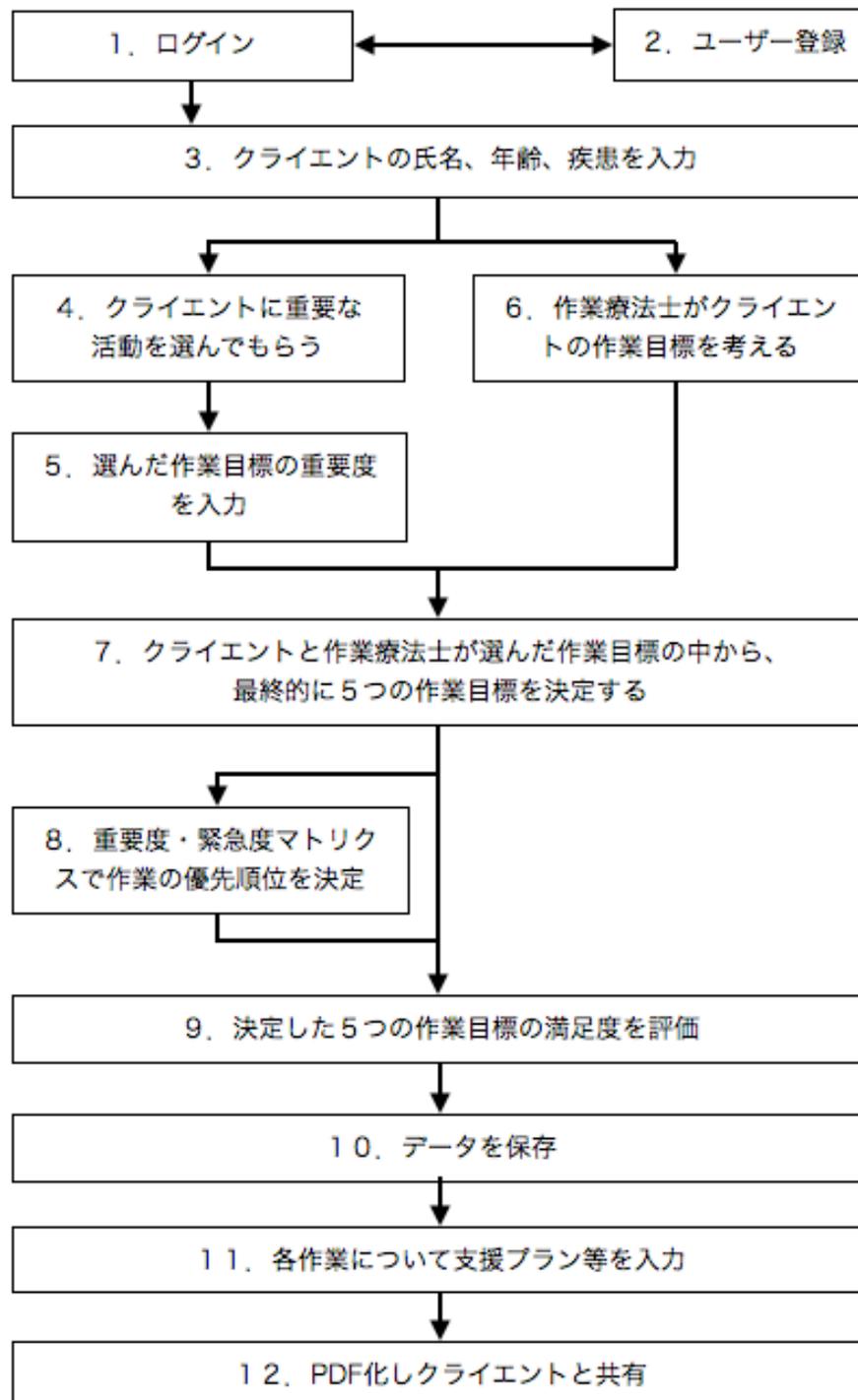
ADOC（Aid for Decision-making in Occupation Choice）は、リハビリテーション（作業療法など）で目標とする活動を決める面接の際、クライアントとリハビリテーション従事者（ここでは以下、仮に「作業療法士」とします）とのコミュニケーションを促進するためのiPadアプリです。

- ・ ADOCはクライアントと作業療法士の協業を促すことを目的としています。
- ・ ADOCでは、日常生活上の活動が描かれた95枚のイラストを用います。それらのイラスト95枚を、パソコン上でカードゲームをするようにクライアント自身が価値のある活動とそうでない活動に振り分けていくことで、クライアントの意思を引き出します。また、クライアントがイラストを選んだ後、同様に作業療法士もクライアントに必要なと思うイラストを選びます。そしてクライアントと作業療法士が十分に協議した上で、作業療法士が目標とする活動を決定します。

■ADOCの特長

- ・ iPadの画面を見ながら面接を進めていくので、手順が明確。
- ・ イラストは、ICF（国際生活機能分類）の活動と参加の項目を参考に、我が国の文化に合わせた日常生活上の活動を網羅している。
- ・ イラストを選ぶだけで活動と参加レベルの目標設定が可能となる。
- ・ 活動場面のイラストを用いているので、言語のみのコミュニケーションに比べて活動のイメージが容易。
- ・ クライアントの意見を引き出しつつ、リハビリテーション従事者との目標を共有することができる。

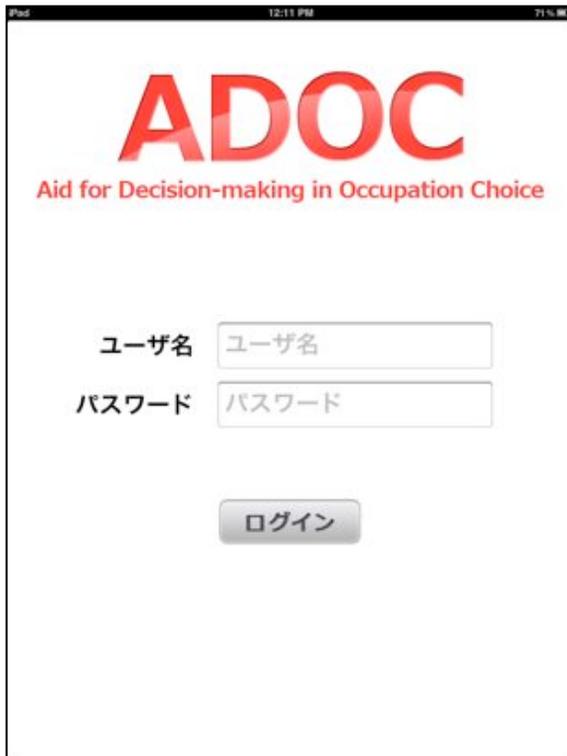
■ご利用手順（図説）



■ご利用方法（詳細）

1. ログイン：旧バージョン（Version 1.0）の場合

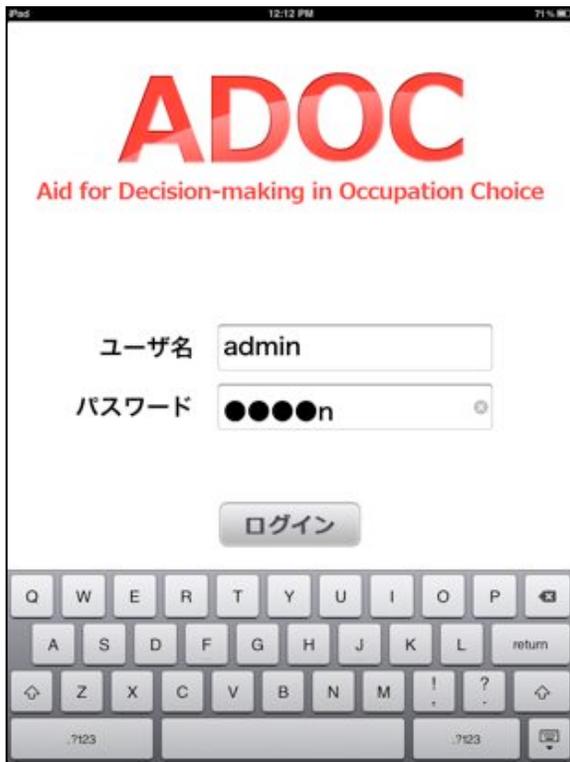
1) ADOCを起動するとまず初めにこの画面が表示されます。



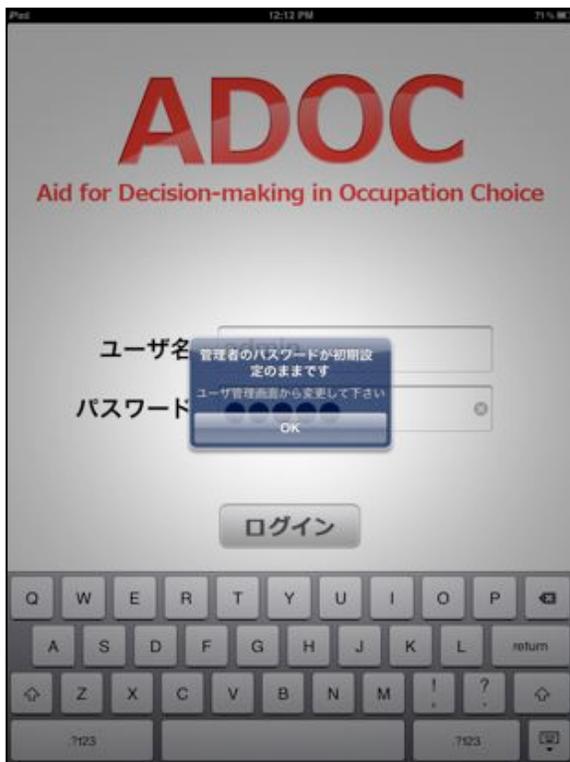
ユーザ名

パスワード

2) ユーザ名とパスワードそれぞれに「admin」と入力します。

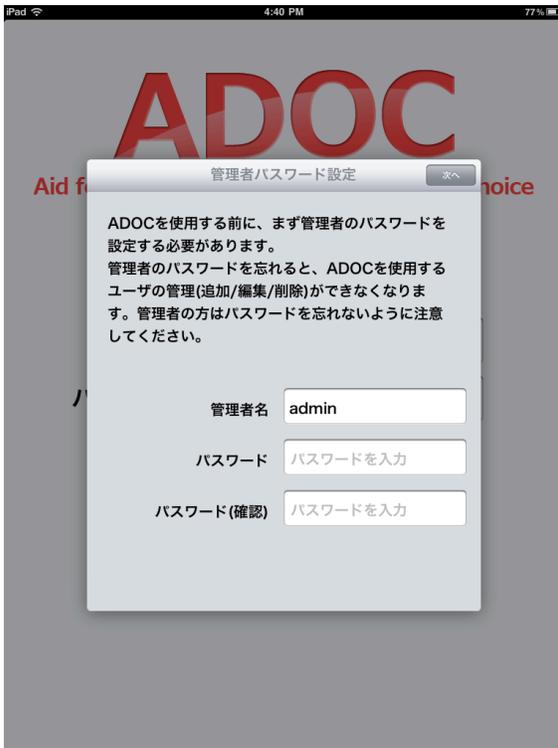


3) パスワード変更の警告が表示されるので「OK」をタップします。

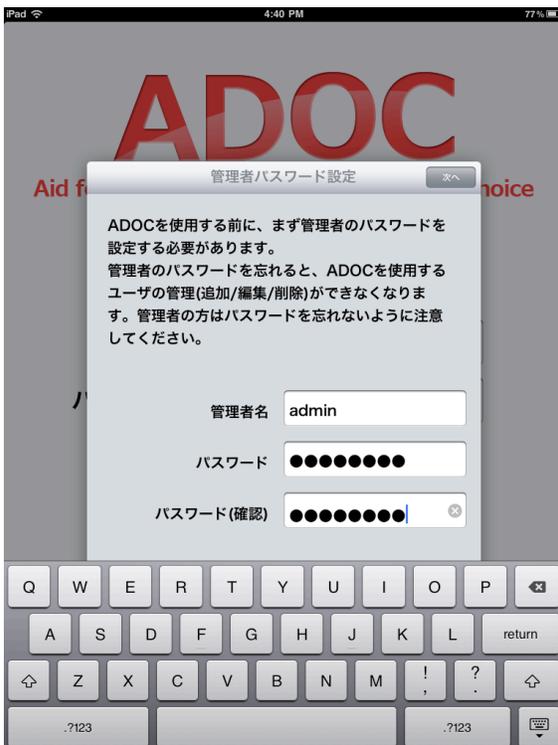


2. ログイン：新バージョン（Version 1.1以降）の場合

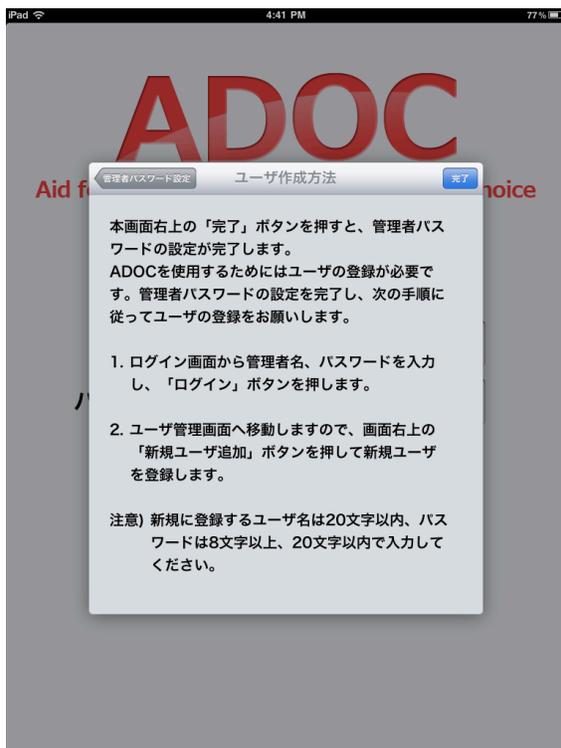
1) ADOCを起動するとまず初めにこの画面が表示されます。



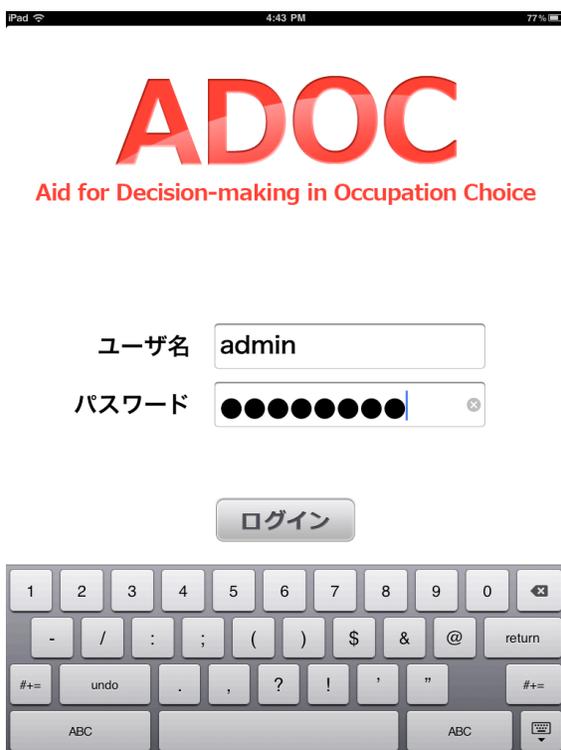
2) パスワードを入力し（8文字以上）、右上の「次へ」をタップします。



3) 確認画面が表示されますので、内容をよく読んだ上で、右上の「完了」をタップします。



4) ログイン画面が表示されますので、先ほど登録したadminのパスワードを使ってログインします。



3. ユーザ登録

- 1) 新規ユーザ（ADOCを利用するリハビリテーション従事者、ここでは以下「作業療法士」とします）を登録します。右上の「新規ユーザ登録」ボタンをタップして下さい。



- 2) 新規ユーザのユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されます。



3) 新規ユーザのユーザ名とパスワードを入力します。



4) 画面右上の「完了」ボタンを押すと登録されます。



【重要】

ADOCには途中保存機能があります。画面右上の人型のボタン（下左図の赤いマル）を押すと、作業中でもその時点のデータを保存し、またあとから作業を再開することができます。



なお、途中保存したデータを呼び出す際は、トップページの「途中保存者リスト」（上右図の赤いマル）ボタンをタップし当該のデータを選んで下さい。

5) いま登録したユーザでログインし直します。ユーザ名とパスワードを入力して「ログイン」をタップして下さい。

ADOC

Aid for Decision-making in Occupation Choice

ユーザ名 yasuda

パスワード ●●●●●●

ログイン



4. クライエントの氏名、年齢、疾患を入力

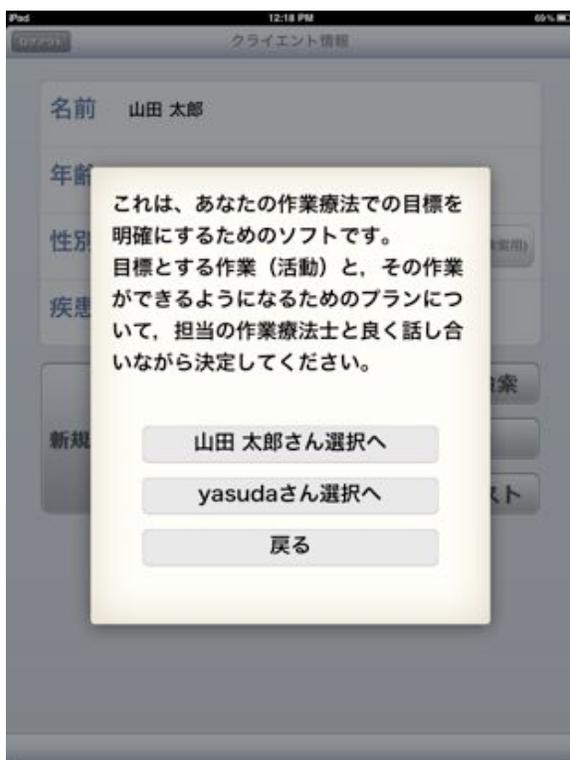
1) ログインすると以下の画面が表示されます。



- 2) 「名前」「年齢」「性別」「疾患」を入力して「新規クライアント作成」をタップします。



- 3) 以下の画面が表示され、重要な活動を選択する一連の手順が始まります。クライアントから先に活動を選択する場合はクライアント名をタップ（以下の場合「山田 太郎さん選択へ」）、もしくは、作業療法士から先に作業を選択する場合は作業療法士の名前（以下の場合「yasudaさん選択へ」）をタップします。



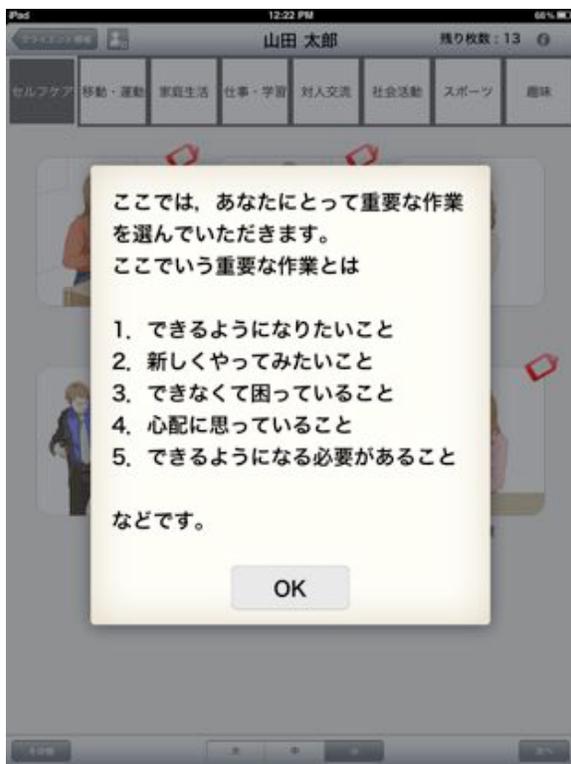
5. クライアントに重要な活動を選んでもらう

- 1) 以下の画面から、重要な活動を選びます。イラストは以下の8カテゴリー、95項目で構成されています。

セルフケア・・・・・・・・6項目
移動・運動・・・・・・・・11項目
IADL・・・・・・・・13項目
仕事・学習・・・・・・・・4項目
対人交流・・・・・・・・5項目
社会活動・・・・・・・・7項目
スポーツ・・・・・・・・20項目
趣味・・・・・・・・29項目



2) 画面右上の「i」を押すと説明が表示されます。



ここでいう重要な作業とは

1. できるようになりたいこと
2. 新しくやってみたいこと
3. できなくて困っていること
4. 心配に思っていること
5. できるようになる必要があること

などです。

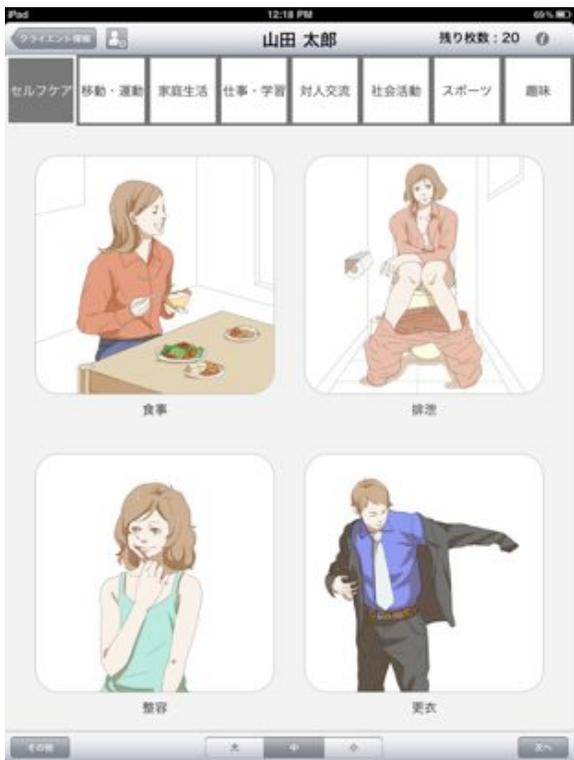
- 3) 画面下の「大」「中」「小」をタップするとイラストの表示サイズを変更できます。



「大」をタップした場合



画面を上下にスクロールすると他のイラストを見ることができます。



「中」をタップした場合

4) 任意のイラストをタップすると詳細が表示されます。そのイラストの活動がク

クライアントにとって重要な場合は「重要」ボタンをタップします。活動は20個まで選ぶことができます。



- 5) もしくは、イラスト一覧から任意のイラストをダブルタップ（2回タップ）すると「重要」というポップアップが表示されるので、そのイラストの活動がクライアントにとって重要な場合は「重要」ボタンをタップします。



6) 上記4) もしくは5) の方法で「重要」に選ばれたイラストには赤いタグが付きます。



6. 選んだ作業目標の重要度を入力

「重要」として選んだ活動の重要度をさらに一枚ずつ設定します。設定し終わったら「次へ」をタップします。



7. 作業療法士がクライアントの作業目標を考える

- 1) 今度は作業療法士が、クライアントにとって重要もしくは必要と思われる活動を選択する手順に入ります。以下の表示が出たら「OK」をタップします。



2) 上記4. と同じように「重要」なイラストを選んでいきます。イラストを選び終えたら画面右下の「次へ」をタップします。



8. クライアントと作業療法士が選んだ作業目標の中から、最終的に5つの作業目標を決定する

- 1) クライアントが選んだ活動のイラストが画面左に、作業療法士が選んだ活動のイラストが画面右に、並べて表示されます。上記5でクライアントが選んだ「重要度」が赤マルに4段階で表示されています。



- 2) これらのイラストの中から、リハビリテーションの目標として、クライアントやクライアントの家族等にとって適切で、現実的に実現可能である活動をクライアントとよく話し合って5つ選んで下さい。その5つが最終的な作業目標になります。

イラストを選ぶ際は、当該のイラストを一度タップして下さい。選ばれたイラストが画面下に表示されます。

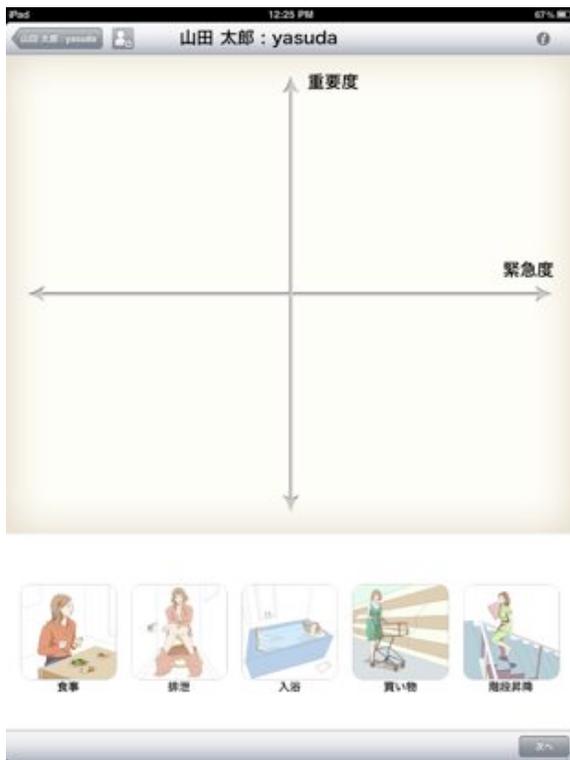


- 3) 5つ選び終わったら、画面右下の「次へ」をタップして下さい。重要度・緊急度マトリクスで作業の優先順位を決定したい場合は「マトリクス画面へ」をタップします。マトリクスを使用する必要がない場合は「満足度選択画面へ」をタップし、各々のイラストで表された作業目標に対する、クライアントの今の満足度を評価する画面に進みます。

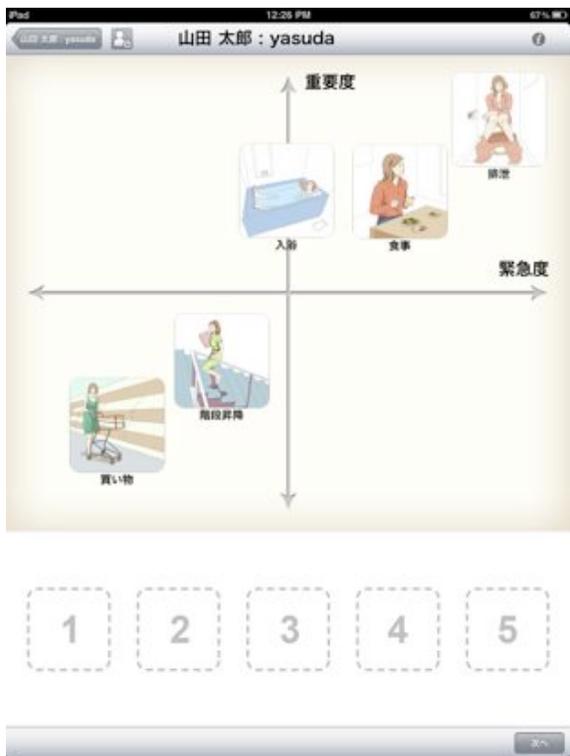


9. 重要度・緊急度マトリクスで作業の優先順位を決定

1) 上記7. 3) で「マトリクス画面へ」を選ぶと以下のマトリクスが表示されます。

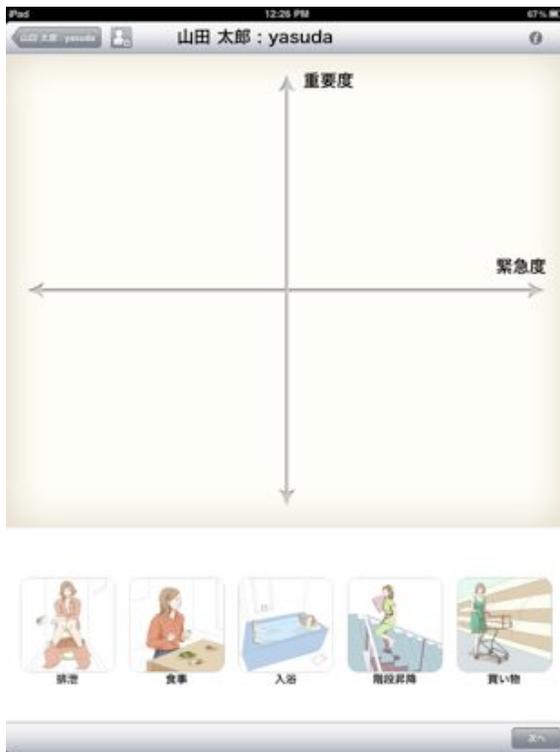


2) 選んだ活動の優先順位をつける際に、この「重要度・緊急度マトリクス」を利用し、イラストを指で動かしながら話し合うこともできます。



3) 話し合いが終わったら、各イラストを指で押さえたまま元の位置にスライド

させて戻し、画面右下の「次へ」をタップします。



10. 決定した5つの作業目標の満足度を評価

決定した5つの活動について、それぞれの活動の現在の実行状況に対する満足度をクライアントにつけてもらいます。「とても満足している」～「全く満足していない」の5段階の中から選びます。



11. データを保存

- 1) 全てのイラストについて満足度をつけたら、画面右下の「保存する」をタップします。



2) 「OK」を押すと、トップページに戻ります。これで目標設定はひとつおわりです。



12. 各作業について支援プラン等を入力

- 1) 上記10までの手順で選んだ5つの活動に対し、作業療法士が文字で支援プラン等を入力します。もちろん、クライアントと一緒に入力してもかまいません。

トップページから「クライアント検索」もしくは「最近の10件」で対象となるクライアントの記録を探します。



The screenshot shows a mobile application interface titled "クライアント情報" (Client Information) on an iPad. The interface includes the following elements:

- 名前** (Name): A text input field with the placeholder text "名前を入力してください" (Please enter the name).
- 年齢** (Age): A text input field with the placeholder text "年齢を選択してください" (Please select the age).
- 性別** (Gender): A selection area with three buttons: "男性" (Male), "女性" (Female), and "指定しない (検索用)" (Do not specify (for search)).
- 疾患** (Disease): A text input field with the placeholder text "疾患を選択してください" (Please select the disease).
- 新規クライアント作成** (Create New Client): A large button on the left side.
- クライアント検索** (Client Search): A button on the right side.
- 最近の10件** (Recent 10 Items): A button on the right side.
- 途中保存者リスト** (List of Incomplete Savers): A button on the right side.



2) 対象となるクライアントの記録を開き、画面右下の「次へ」をタップします。



3) 「ご注意」が表示されますので、内容を確認して「OK」をタップします。



4) コメント入力欄が表示されますので、作業療法士が支援プランを入力します。

PDFの作成

山田太郎 様 リハビリテーション計画書 作成日：2015/8/14

山田太郎 様が大切にしている作業

	セルフケア：排泄 満足度：3 / 5 クライアントが実際に話した内容で、特に作業の意味や目的について記載する（何のため、誰のため、どんな意味がある、など）
	セルフケア：食事 満足度：3 / 5 クライアントが実際に話した内容で、特に作業の意味や目的について記載する（何のため、誰のため、どんな意味がある、など）
	セルフケア：入浴 満足度：3 / 5 クライアントが実際に話した内容で、特に作業の意味や目的について記載する（何のため、誰のため、どんな意味がある、など）
	移動・運動：階段昇降 満足度：2 / 5 クライアントが実際に話した内容で、特に作業の意味や目的について記載する（何のため、誰のため、どんな意味がある、など）
	家庭生活：買い物 満足度：2 / 5 クライアントが実際に話した内容で、特に作業の意味や目的について記載する（何のため、誰のため、どんな意味がある、など）

全体像(これまでの生活状況・役割・大切にしている想い・心配こと等)

面接の過程でクライアントと共有した各作業の意味や目的をベースに、クライアントの生活状況、役割、作業への想い、環境因子、心理面、観察結果、身体機能など、クライアントの全体像を把握できる内容を記載する。

山田太郎 様

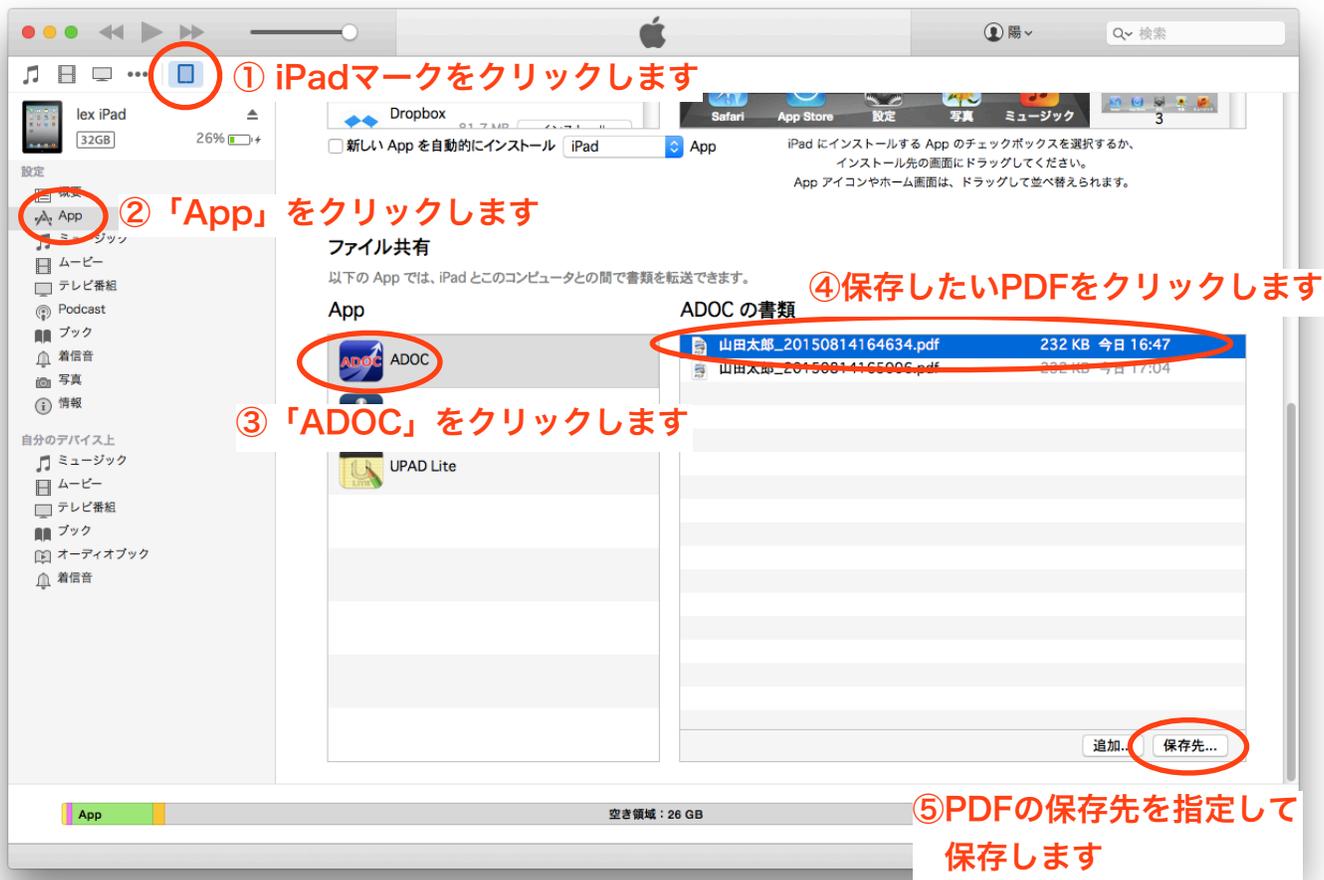
キャンセル 完了

5) 各項目の入力が終わったら、画面右下の「完了」を押してください。入力内容がADOCアプリ内にリハビリテーション計画書がPDF形式で保存されます。

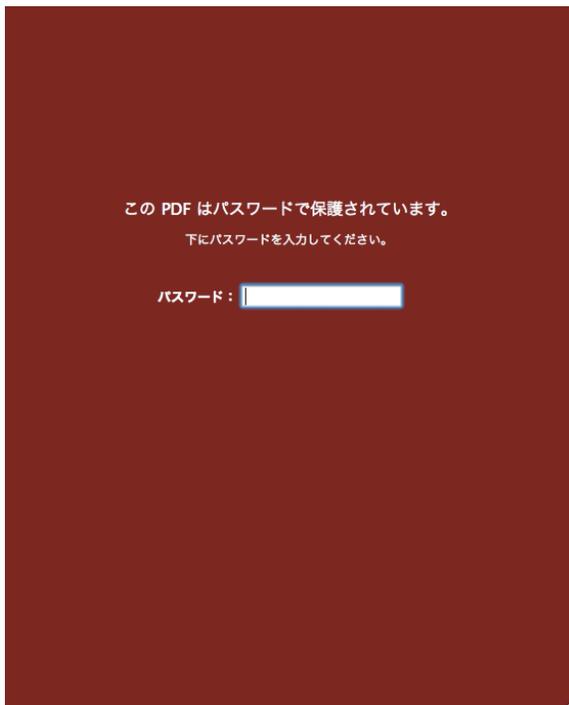


13. 作成したリハビリテーション計画書をクライアントと共有

- 1) 選択した活動およびその支援プランが書かれたリハビリテーション計画書をPDFで印刷し、クライアントと作業療法士が署名をして両者で保管することも可能です。上記「12. 5)」で保存したリハビリテーション計画書のPDFを取り出すには、Windows/Mac用ソフト「iTunes」を使う方法と、iPadにあらかじめインストールされている「メール」アプリで送信する方法の2通りがあります。
- 2) Windows/Mac用ソフト「iTunes」を使う方法：まずiPadをApple社のソフトウェア「iTunes」がインストールされているパソコンに接続し、iTunesに当該のiPadを認識させて下さい。すると以下のような画面になりますので、①～⑤の手順に従ってPDFをパソコンに保存してください。



- ① iTunesがインストールされているパソコンにiPadを接続し、iTunesの画面左上にあるiPadマークをクリックします。
- ② 画面上部の「App」をクリックすると、画面下部に「ファイル共有」という項目が現れます。
- ③ 「ファイル共有」の「ADOC」をクリックすると、ADOCの中で作成したPDFの一覧が現れます。
- ④ 保存したいPDFファイル名をクリックして選択します。
- ⑤ 右下の「保存先」ボタンをクリックし、保存先のフォルダを選んでPDFを保存します。
- ⑥ 保存したPDFを開くときにパスワードを聞かれますので、ADOCアプリにログインする際に使用しているユーザーパスワードを入力してください。



- 3) iPadの「メール」アプリでPDFを送信する方法（※）：以下の方法を使うと、Windows/Mac用「iTunes」ソフトを経由せずにPDFを取り出すことができます。
- ※あらかじめ「設定」アプリの「メール/連絡先/カレンダー」項目でメールの送信設定が完了していることが前提となりますのでご注意ください。

①上記「12.2）」画面の中央下にある「メールで送信」をタップします。



②「宛先」等を入力し、画面右上の「送信」ボタンをタップします。



以上で一連の作業は完了です。